

スポーツチャンバラ

制約や細かいルールが多い剣術をもっと自由に、誰もが楽しめるようにと考案されたスポーツです。

「エアーソフト剣」というスポンジ製の道具を使用するので、どこを攻撃してもOK。打たれたときの衝撃も少なく、子供から高齢者まで安心してできる格闘技です。

近年“サムライ・スポーツ”として、また護身術として国内外で人気上昇、老若男女を問わず急速に普及しています。

用具

☆剣

「エアーソフト剣」と呼ばれるスポンジ製の剣を使用する。※中の空気を抜くと折りたためる。

☆面

「ヘッドカバー」と呼ばれる（黒・紺・赤・白・黄・青の6色）。※軽くて丈夫。

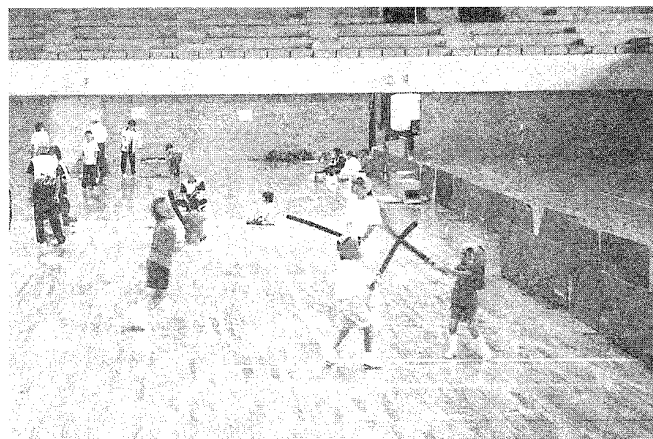
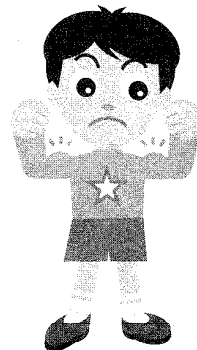
場所（コート）

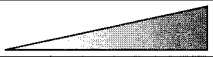
☆区画線を含んで、6～9m×6～9mの平坦な場所で、区画線、開始線は5～10cm幅の白線とする。

☆開始線は、中央に向かい3m離れた平行線の表示とする。

人数

☆1対1の「対戦」のほか、1対3のような「乱戦」、30対30・50対50のような集団で戦う「合戦」がある。



	
運動量	★★★
技能	★★★
準備	★★

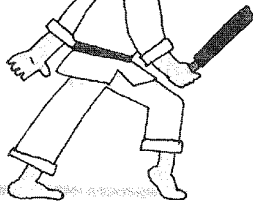
ルール（進め方）

☆選手はエントリーする種目により、次の8つの部に分かれて競技を行う。

①

「短刀」の部

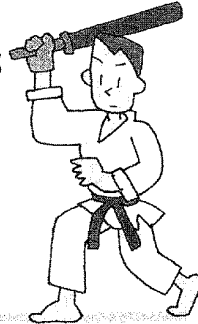
全長45cm
以下



②

「小太刀」の部

60cm以下



③

「両手長剣」の部

100cm以下
(長剣を剣道のように両手で把持します)



④

「片手長剣」の部

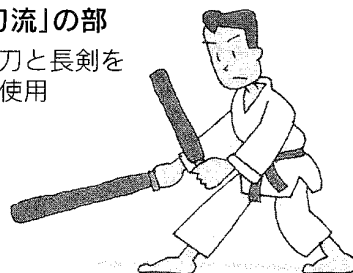
100cm以下（長剣を片手で把持し、ヨーロッパのレピアやサーベルのように使います）



⑤

「二刀流」の部

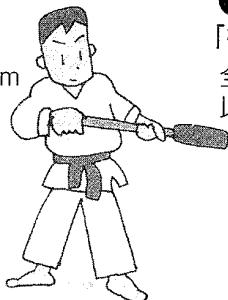
小太刀と長剣を同時使用



⑥

「杖」の部

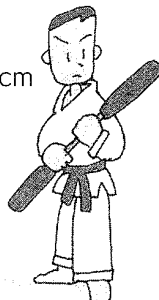
全長140cm
以下



⑦

「棒」の部

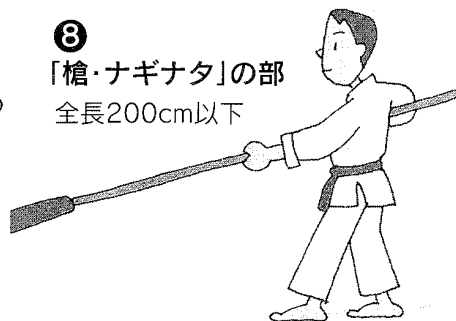
全長200cm
以下



⑧

「槍・ナギナタ」の部

全長200cm以下



【判定】

公認審判員3人（主1人・副2人）と検査役（1人）が審判、判定を行う。

試合はすべて「1本勝負」。ただし、決勝戦は「3本勝負」とする。

「相打ち」は両者負け。ただし、準々決勝では再試合を行う。

【勝敗】

どこでも、打てば勝ちとなる。ただし、ある程度の威力がなければ、一本とは認められない。

☆どこでも、打てば勝ちとなる。

☆どこを打たれても負けとなる。

☆打ち方や、よけ方に決まった型はない。

☆背後を打つことも認められている。

☆相打ちとは、両者とも負けとなる。

☆打たれた後、打ってはいけない。

世界選手権大会では各種目のチャンピオンがそれぞれの武器で戦い、総合優勝を選ぶことになる。

力や体格の差が大きい場合（大人対子どもなど）、武器の長さを変えハンディをつけて対戦する。